



私には
私の勝ち方
がある。

キミが、いちばん望む合格へ。

河合塾

2024年5月18日(土) 兵庫県立八鹿高等学校 高3保護者様向け

「現役合格を目指して」

河合塾進学アドバイザー(**亀井 昇**)

学部系統の人気の変化

学部系統の人気の変化 社会的背景が大きく影響

- ~2010
- 08 ● 医学部定員増スタート
 - リーマン・ショック
 - 11 ● 東日本大震災
 - 12 ● スマホ普及が本格化
 - 14 ● 消費税率8%に引き上げ
- ~2015
- 15 ● 教育課程改訂による入試の変更
 - 北陸新幹線開業
 - 16 ● 人口知能 (AI) に関する報道増加
 - 17 ● 大学生就職内定率 調査以来過去最高値 (当時)
 - 18 ● 医学部不適切入試明るみに
 - 19 ● 平成から令和に改元
 - 消費税率10%に引き上げ
- ~2020
- 20 ● 最後のセンター試験
 - 大学入試改革が本格化
 - 新型コロナウイルス感染拡大・緊急事態宣言発令
 - 21 ● 大学入学共通テストスタート
 - 東京オリンピック・パラリンピック開催
 - 22 ● ロシアによるウクライナ侵攻
 - 高校生の大学志願率が6割に
 - 情報・データサイエンス系学部の新設相次ぐ
 - 理工系学部での女子枠設置

入試の傾向

2006~08年度入試

- 経済系・工学系人気、資格系の人気低下

2009~14年度入試

- 資格系学部「教育」「医療」が高い人気
- 医学科志願者大幅増
- 理系学部の人気上昇、文低理高が鮮明

2015~18年度入試

- 国公立大人気落ち着く
- 文高理低に転換、国際系・社会科学系人気
- 農学系、医・薬・教育などの資格系は不人気

2019・20年度入試

- 社会科学の人气が低下、理系人気に
- 教育、医・歯・薬の医療系不人気は続く

2021・22年度入試

- コロナ禍を背景に、就職を意識した系統選び法、医・薬など難関資格系統が人気
- 外国語分野では低調な人気

2023年度入試

- 文、生活科学が不人気
- 医、獣医などの難関資格系は人気続く
- 女子のキャリア志向が強まる

- 浪人するのは大変そう・・・安全に、現役で。
⇒ 大学入試でこんな流れが強まっています。
 - ・ 旧帝大(京大や阪大等)志望者 → 第1志望を貫く受験生増
後期は安全(現役)志向
 - ・ 大阪公立大など(準難関大)志望者
→ 前期はチャレンジするも現役志向で後期は受けず私大へ
 - ・ 地方国立大 → 都市部からの受験者減少 地元の勝負
 - ・ 私大 → 定員枠の増加で4, 5年前と比べ入りやすい環境に

18歳人口は減り続けているうえに、近年は、
どんどん勝手にライバルがいなくなっています。
最後まで難関大志望に留まる強い気持ちを！！

大学入試の種類

総合型選抜
(旧：AO入試)

出願時期：9月以降

合格発表：11月以降

- 受験生の適性、志望動機を重視。面接を中心に時間をかけて選抜を行う。

学校推薦型選抜
(旧：推薦入試)

出願時期：11月以降

合格発表：12月以降

- 名前の通り、原則学校長の推薦を受けることで受験できる入試。

一般選抜
(旧：一般入試)

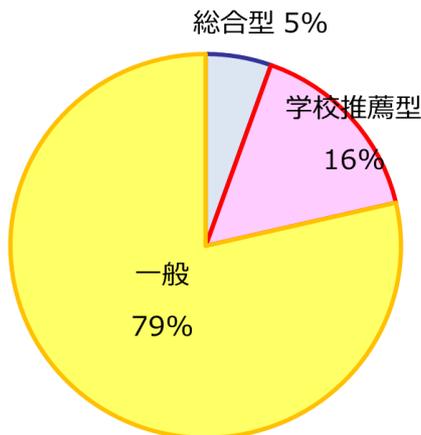
試験期日：2/1～3/25

合格発表：3/31まで

- 主に学力試験で選抜を行う入試。

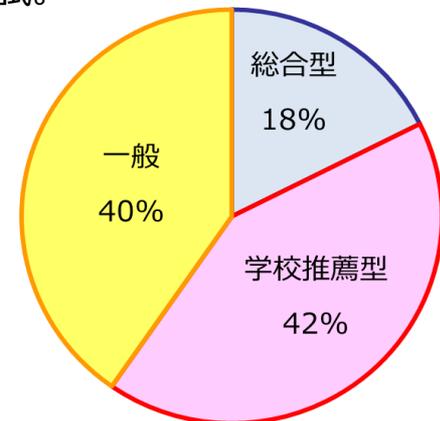
国公立大学

近年、総合型・学校推薦型選抜が増加してるが、共通テストを課すことが多い。



私立大学

私立大でも、難関大は、一般入試の定員が多い、推薦等も高い基準がある。



国公立大の志願状況（全体概況） 一般選抜

国公立大志願者数の変化

■ 全体概況

	2023年度	2024年度	前年差	前年比
前期日程	231,415	232,342	+927	100%
後期日程	160,068	159,846	-222	100%
中期日程	31,663	31,068	-595	98%

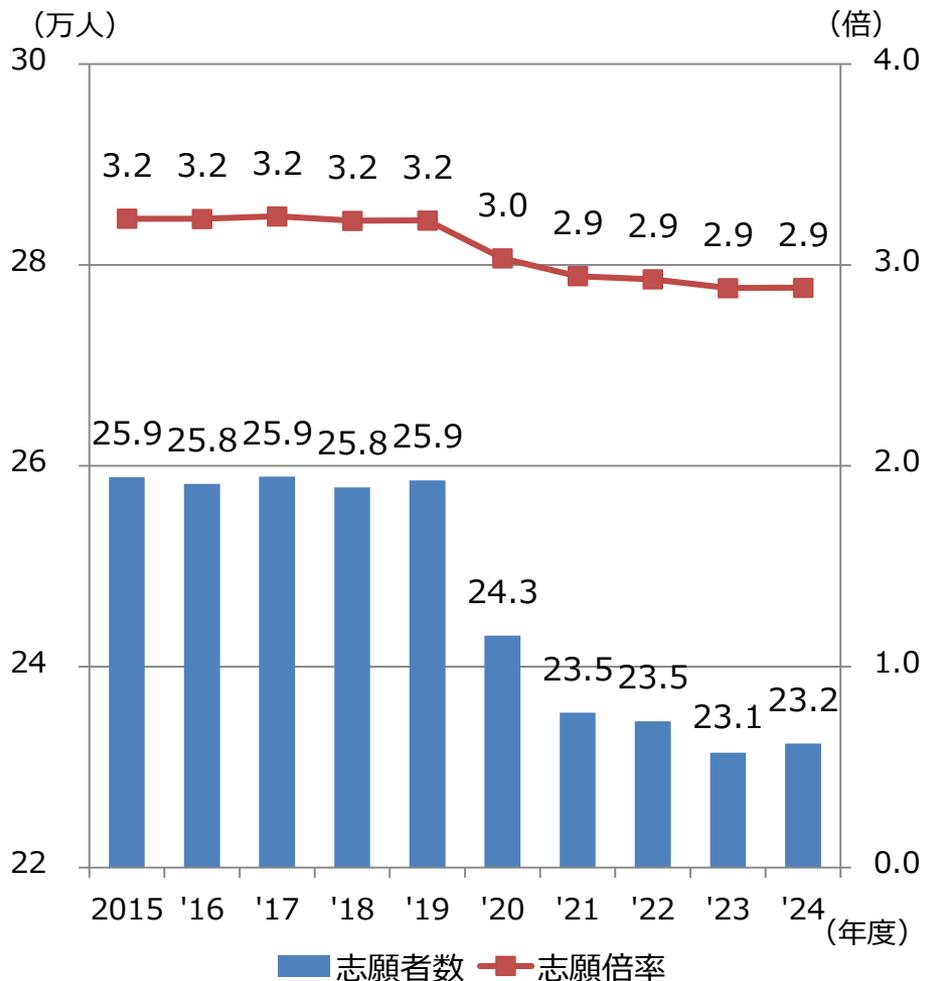
■ 国立・公立別（前期日程）

	2023年度	2024年度	前年差	前年比
国立大学	176,447	177,519	+1,072	101%
公立大学	54,968	54,823	-145	100%

■ 地区別（前期日程）

	2023年度	2024年度	前年差	前年比
北海道	11,231	11,203	-28	100%
東北	17,620	17,255	-365	98%
関東・甲信越	71,124	71,826	+702	101%
北陸・東海	31,246	30,195	-1,051	97%
近畿	40,218	40,860	+642	102%
中国・四国	30,104	29,790	-314	99%
九州	29,872	31,213	+1,341	104%

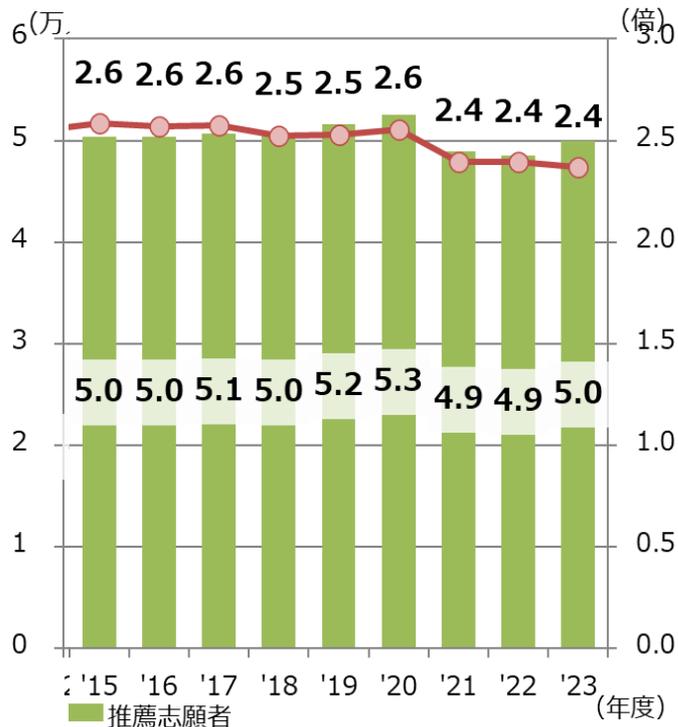
前期日程志願者数の推移



※河合塾調べ

※河合塾調べ
※志願倍率 = 志願者数 ÷ 募集人員

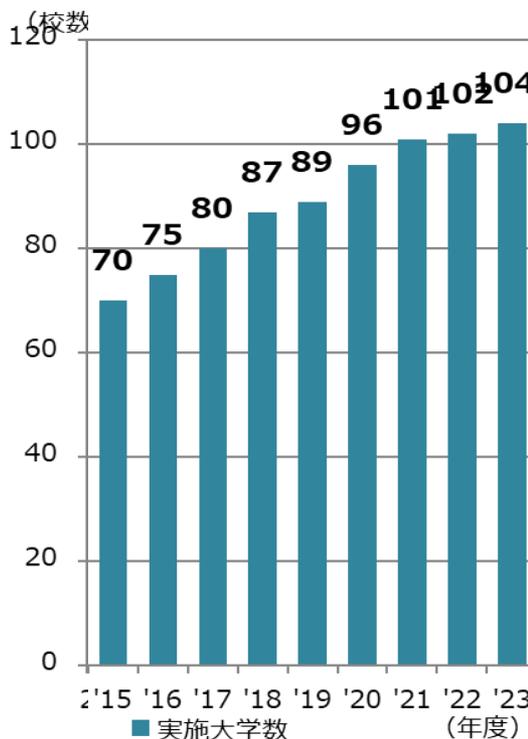
学校推薦型選抜の志願者数と倍率 (国公立大)



志願者・倍率
ともに変わらず

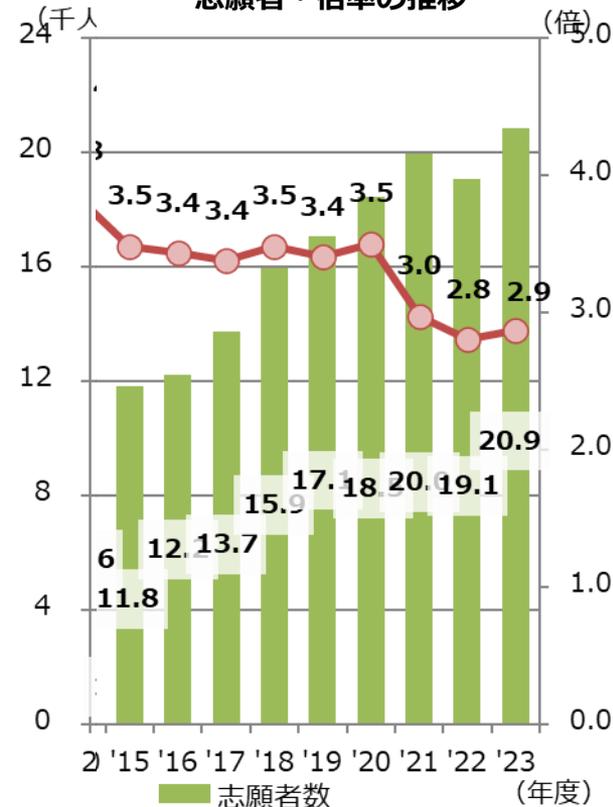
総合型選抜の実施状況 (国公立大)

総合型選抜 実施大学数の推移



2010年代以降
定員枠の増加

志願者・倍率の推移



一般選抜同様
3倍前後

※文部科学省資料より

学校推薦型選抜・総合型選抜 準備の心構え

- 合格したら（ ）をもつこと
 - 学校推薦型選抜・総合型選抜はあくまでも（ ）の受験機会の拡大として活用
- （ ）の受験準備・出願校の決定が必要
 - 一般選抜とは異なる受験準備が必要
例、志望学部・学科に関連する情報にアンテナを張り、疑問や自分の意見をもつ。
 - 一般選抜の勉強を並行して継続すること



朝、5分だけ早起きをして
新聞を読みましょう。

- 1面記事、コラム、社説、何でも構わないので、
一つのまとまった記事を読むことをお勧めします。
- 「へーそうなんだ。**僕はこう思うけどね**」レベルで構わないので読んだ記事の感想、意見まで持てればより良いです。
- これで成績がすぐに上がるわけではありません。ただ、
何もしないよりは絶対にましです。
- 医療系志望なら「**医**」の文字を、教育系志望なら「**教育**」の文字を意識して記事を選ぶとなお良いです。面接、小論文、いろいろな場面で役立つかもしれません。

私立大の志願状況（全体概況）

私立大志願者数の変化

■ 全体概況

	2023年度	2024年度	前年差	前年比
全体	2,448,053	2,462,110	+14,057	101%
一般方式	1,629,533	1,619,188	-10,345	99%
共通テスト方式	818,520	842,922	+24,402	103%

※数値は3/22現在河合塾調べ、私立131大学の集計

※志願者数が未公表の入試方式は集計対象外

■ 大学グループ別

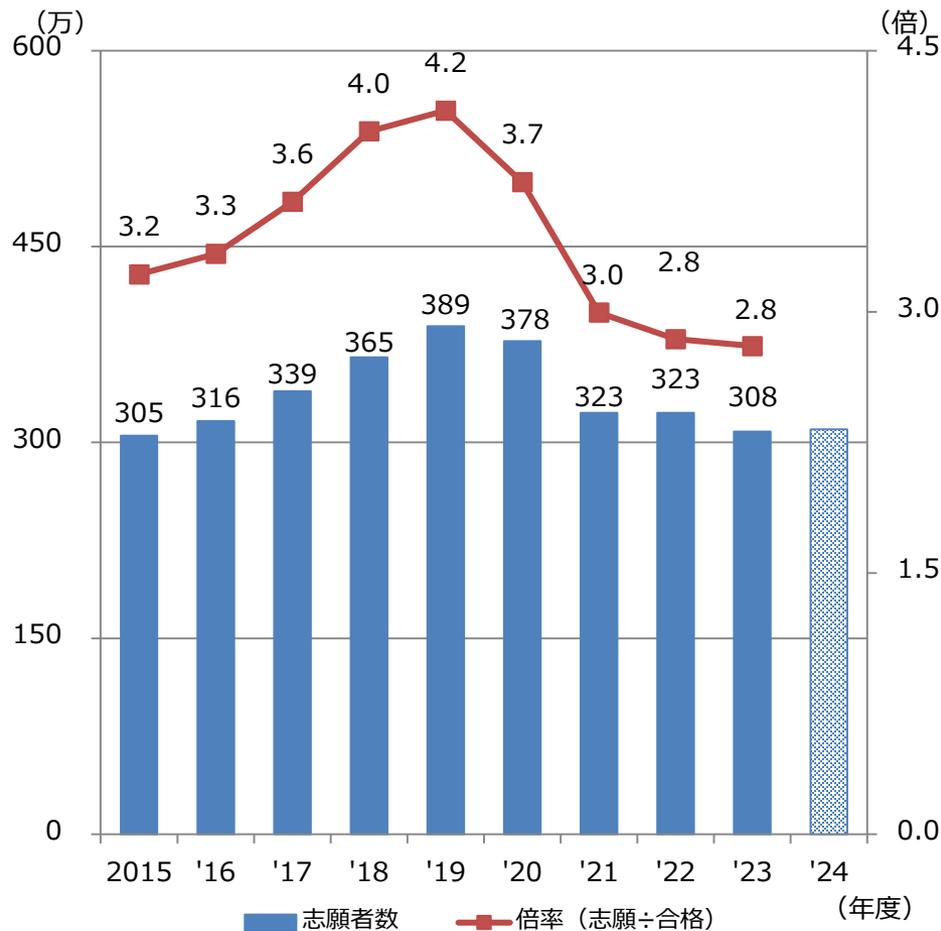
		2023年度	2024年度	前年差	前年比
首都圏	早慶上理	205,540	208,850	+3,310	102%
	MARCH	376,006	379,975	+3,969	101%
	成成明國武	91,784	99,827	+8,043	109%
	日東駒専	258,692	257,844	-848	100%
	首都理系大	304,768	301,633	-3,135	99%
	首都女子大	50,788	48,738	-2,050	96%
近畿圏	関関同立	260,279	269,305	+9,026	103%
	産近甲龍	259,657	248,266	-11,391	96%
北星学園・北海学園		8,302	8,211	-91	99%
東北学院		12,727	12,203	-524	96%
南山・愛知・中京・名城		104,290	106,444	+2,154	102%
西南学院・福岡		60,953	60,937	-16	100%

※数値は3/22現在河合塾調べ

※志願者数が未公表の入試方式は集計対象外

(大学グループ)

早慶上理：早稲田・慶應義塾・上智・東京理科大学
 MARCH：明治・青山学院・立教・中央・法政
 日東駒専：日本・東洋・駒澤・専修
 成成明國武：成蹊・成城・明治学院・國學院・武蔵
 首都理系大：千葉工業・北里・工学院・芝浦工業・東京工科大学・東京電機・東京都市・東京農業
 首都女子大：大妻女子・学習院女子・共立女子・実践女子・白百合女子・昭和女子・津田塾・東京家政・東京女子・日本女子
 関関同立：関西・関西学院・同志社・立命館
 産近甲龍：京都産業・近畿・甲南・龍谷



※文部科学省資料より

※グラフは私立大一般入試最終志願者数・倍率の推移(2024年度は推定)

国公立大一般選抜のしくみ

<ポイント① 共通テスト+二次試験で合否判定>

大学入学
共通テスト

+

大学個別試験
(二次試験)



合否判定

※いずれも必要な科目や配点は大学により異なる！

<ポイント② 二次試験は「分離・分割方式」で実施>



共通テストの変更点

教科	出題科目	解答時間	配点	備考
外国語	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	80分	200点	1科目を選択 英語はリーディングで別途リスニング (解答時間30分)を実施(配点は各100点)
数学①	数学Ⅰ 数学Ⅰ・数学A	70分	100点	1科目を選択
数学②	数学Ⅱ・数学B・数学C	70分	100点	
国語	国語	90分	200点	近代以降の文章110点、古文45点、漢文45点
理科	物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎 物理 化学 生物 地学	1科目 60分	1科目 100点	近代以降の文章の大問追加 最大2科目選択可
地理歴史 ・公民	地理総合・歴史総合・公共 地理総合・地理探究 歴史総合・日本史探究 歴史総合・世界史探究 公共・倫理 公共・政治経済	1科目 60分	1科目 100点	最大2科目選択可 (組み合わせ制限あり)
情報	情報Ⅰ	60分	100点	教科「情報」を出題

③
数学②・国語
試験時間
10分延長

④
近代以降の文章の大問追加

①
新課程に対応
した出題科目

②
教科「情報」を出題

共通テスト時間割（イメージ）

1日目

9:30

9:30※～11:40（130分）
地理歴史・公民（2科目）
 ※1科目受験者は10:40～

13:00

13:00～14:30（90分）
国語

15:20～16:40（80分）
外国語

17:20～18:20（60分）
英語リスニング

2日目

9:30※～11:40（130分）
理科（2科目）
 ※1科目受験者は10:40～

13:00～14:10（70分）
数学①

15:00～16:10（70分）
数学②

17:00～18:00（60分）
情報

時間を意識した学習対策が必要

【教科別 1 問あたりの解答時間】

教科・科目	1 問あたりの解答時間	時間 / 問題数
英語（リーディング）	2分0秒	80分 / 48問
数学Ⅰ・数学A	1分47秒	70分 / 43問
数学Ⅱ・数学B	1分12秒	60分 / 48問
国語	2分9秒	80分 / 36問
物理基礎	1分52秒	30分 / 17問
化学基礎	1分52秒	30分 / 15問
生物基礎	1分52秒	30分 / 17問
地学基礎	2分0秒	30分 / 15問

教科・科目	1 問あたりの解答時間	時間 / 問題数
物理	2分36秒	60分 / 25問
化学	2分0秒	60分 / 33問
生物	2分13秒	60分 / 28問
地学	2分13秒	60分 / 30問
世界史B	1分45秒	60分 / 34問
日本史B	1分52秒	60分 / 32問
地理B	2分0秒	60分 / 31問
倫理, 政治経済	1分52秒	60分 / 32問

※2023年度大学入学共通テストより算出

※数学はそれぞれ第3問・第4問を選択した場合で算出

- 1 問にかけることができる時間はおよそ（ ）分
→ 解けない（手が止まる）問題に何分かかけられる？

私立大入試のしくみ①

「一般方式」の特徴

- **入試科目・問題は大学ごとに異なる**
- **教科数は2～3教科が一般的**
 - 《文系》 英・国・（地歴公民or数学）から2～3教科
 - 《理系》 英・数・理から2～3教科
- **複数の入試方式が設定されていることが多い**
少数教科型・得意科目重視型・英語外部試験利用型 etc.
- **受験生が受験しやすい配慮**
 - 入試日の複数化
 - 各都市に試験会場設置
 - 複数受験で受験料割引

「共通テスト利用方式」の特徴

- **共通テストのみの成績で合否が決まるのが主流**
- **受験料は一般方式と比べて割安**
- **一般方式同様、複数の入試方式の設定目立つ**
- **教科数は2～3教科が一般的**
- **一般方式と組み合わせ合否判定を行う併用型もあり**

私立大受験では経済的・体力的な負担が軽い
共通テスト利用方式をうまく活用したい



皆様へ質問です。

いくつかあてはまりますか？

1. 将来やりたいもの(第一志望)が決まっていない。
2. スマホやパソコンを頻繁に触っている。
3. 学校の授業で好き嫌いがある。
4. 考査期間前だけ一生懸命勉強する。
5. 休みの日は起きる時間が遅い。
6. 親子で話す時間が少なくなってきた。
7. 言い訳が上手くなった。
8. 忘れ物が多い。
9. 遅刻、ぎりぎり行動が多い。

時期別 自宅学習時間

時期	1時間未満	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間以上	平均
高2	1.1	20.9	12.5	20.9	12.5	9.7	7.0	5.5	2.9
1学期	0.8	6.7	14.1	29.2	20.1	13.5	6.6	9.0	3.8
夏休み	0.2	1.2	2.2	5.1	7.0	10.6	12.0	61.7	7.4
2学期	0.2	1.8	5.6	19.3	23.2	20.8	12.1	17.0	4.8
3学期	0.4	1.0	1.8	6.1	8.2	13.5	12.6	56.5	6.8

高3夏休み以降は受験生全員猛勉強します（差がつかない）
 差のつくのはそれまでの期間です。（早いスタートが大切）

①志望校を決める②自宅学習を開始する③学習時間を増やす
 現状に応じて、まず第一歩を踏み出しましょう。

共通テスト出願

9月下旬～10月上旬

- 現役生は高等学校を通して出願
- 出願時に「受験する教科」「地歴公民、理科の受験科目数」等を申請

総合型・推薦型選抜

9月下旬～11月中旬

- 夏休みごろから学科試験対策の他に志望理由書作成・面接練習がある

私大出願

11月下旬～

共通テスト本試験

1月18日（土）・19日（日）

国公立大出願校決定

2月1週目

- 共通テストの自己採点をもって10日前後で出願校の再検討が必要

一般選抜

共通テスト後の流れを知っておこう

なので、今のうちに候補をしっかりと考える

- 年間の模試成績を元に、現実的な目標を想定。
 - 入試までの伸びも期待し、理想ラインも想定。
 - 共通テスト（入試）に絶対はないことを考え、ミスラインも想定。
 - それぞれのパターンで、前期・中期後期の組み合わせを想定。
- ⇒ それぞれの大学を今なら冷静に調べることができる。

共通テスト後に冷静に調べるのは難しい！

	得点率	前期	中期	後期
理想 3~5%	68%	広島・工		??
現実 3~5%	65%	岡山・工	兵庫県立・理	徳島・工
ミス	60%	徳島・工		???

■ 8月…全統共通テスト模試、全統記述模試

→ 1学期の総点検。

■ 10月・11月頃…全統共通テスト模試・記述模試、
全統プレ共通テスト

→ 本番に向けての総点検

など、それぞれの時期で目標を持って実施します。

全力で受験する → 結果・判定を確認する → 復習することを心がけましょう

×「受験勉強開始していないから意味がない」

○「ヤバイ！ いますぐ始めないと、、、」

全統共通テスト模試の個人成績表より



<何も知らない受験生>

「E判定」→「絶対ムリ」→

「今の成績で合格できる場所は？・・・」→ マイナスな情報のみで進路変更を考えがち

<情報を読み取れる受験生>

まず現状を受け止める（323点）

自分のめざす判定との距離を確認する **（例）次回の模試で「C判定」を取りたい！**

→C判定の基準点339点まで「16点」足りない

→筑波大 理工学群の共通テスト配点は450点

→900点の素点で考えると倍の「32点」足りない

→7科目受験なので、各科目「4~5点」アップでOK ※旧課程時の例です

→各科目あと「1~2問」取ればC判定に届く！！



具体的なゴールが見えれば、走ることができる

第1志望				
日程 志望大学 (募集人員)	前 出願	筑波大学 理工学群 物理一前	定員(43)	
合格 可能性 評価	評価	あなたの偏差値 または共通テスト得点 (満点)	323 点 (450)	
	E	ボーダーライン	347 点	
評価別人数	得点	人数	□=2人	
	379~	6	□□□□□□	
	374~	1	□	
	A 369~	1	□	
	364~	1	□	
	359~	1	□	
	B 354~	2	□□	
	349~	1	□	
	344~	6	□□□□□□	
	C 339~	4	□□□□	
	334~	3	□□□	
	329~	8	□□□□□□□□	
	D 324~	3	□□□	
	319~	10	■	
	314~	3	□□□	
未満	135	□□□□□□□□□□		
順位	第1志望者		総志望者	
	38 位		225 位	
	185 人中		596 人中	
	283.5 点		302.9 点	
教科別成績	教科	平均偏差値	本人成績	大学配点
	英語	52.7	62	80
	リスニング	52.5	16	20
	数学	53.6	61	100
	国語	53.2	73	100
	理科	50.6	78	100
地歴・公民	51.5	34	50	

× 生徒・保護者のイメージ

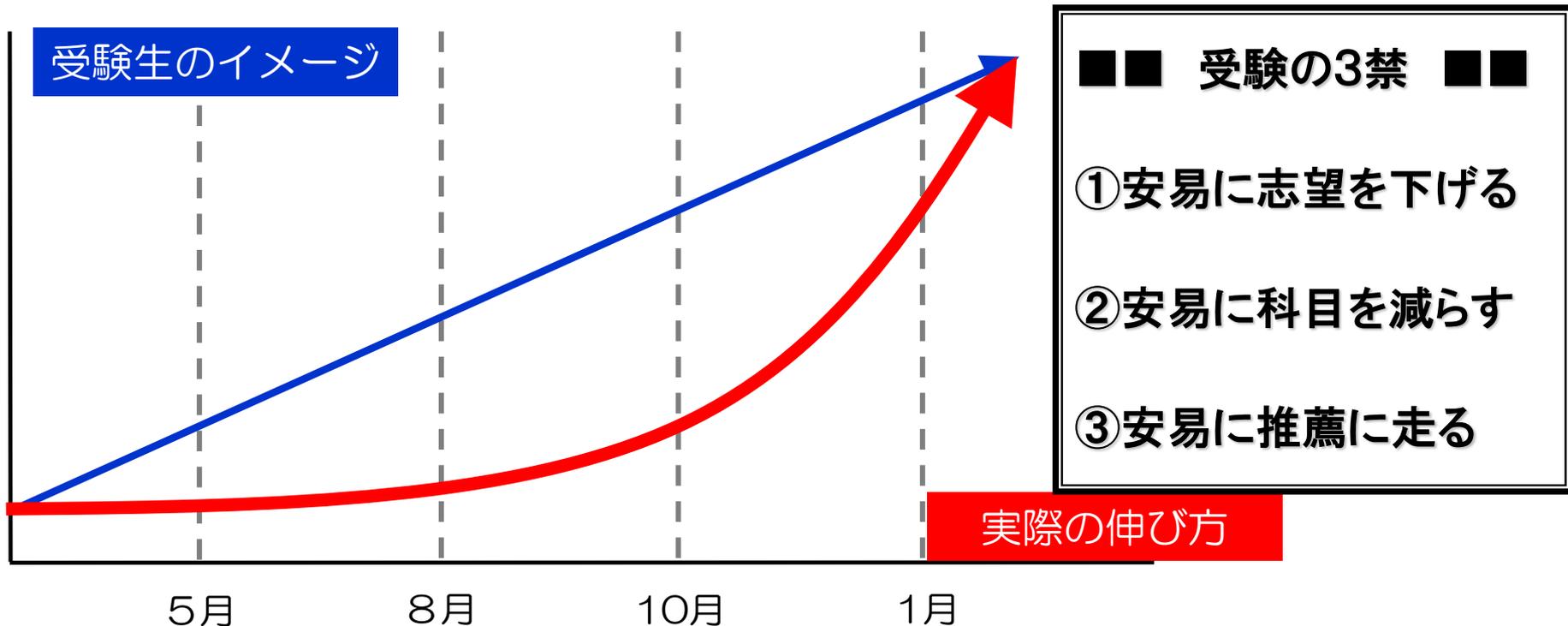
○ 実際

合格可能性

A	判定	⇒ ABCD 判定は 4割程度 の人数	A	判定	80%↑
B	判定		B	判定	65%↑
C	判定		C	判定	50%↑
D	判定		D	判定	35%↑
E	判定		E	判定	20%↓

国公立大や
難関私立大の
受験倍率は
およそ3倍(=33%)

1 1月以降に伸びる生徒が多い現役生において、模試判定は 大半がE判定です。河合塾模試でも、概ね6割がE判定です。 模試では、現状の確認と今後の勉強戦略を練りましょう。



勉強を始めてもすぐに成績は伸びません
夏・秋模試でがっかりして、志望校を下げない
勉強をやり始めたという行動を褒めてあげましょう

本当に、問題文を読んでいるか

過去の京大即応オープン 日本史より

・鎌倉幕府との協調のもとで院政を行っていた 上皇は…

・統幕の計画を立てたが、失敗して 国に配流された。

何問か前の は、答えるのに、です。

私の過去最大の謎

数年前、京大OP、A判定、マーク・記述模試ずっとA判定の生徒を、不合格にしてしまいました。彼に関わった各教科の講師、チューター全員で徹底的に分析しましたが、結局、なぜ不合格だったのか、結論は出ませんでした。ある講師が、去り際にひと言、

「あの子、 よね」。

忘れ物とマークミス の相関

	201〇年	201■年	201▲年
阪大クラス人数	<u>90人</u>	88人	91人
	<u>68個</u>	33個	29個
	<u>28人</u>	15人	14人

※マークミスは軽症、重症含む。11月プレテスト時の調査。

マークミスや出願ミス、入試当日の受験票、時計忘れ……。生徒の生活態度、性格と、見事なほど一致しています。

最後まで、高校生として当たり前前のことを当たり前前にする、規則正しく生活することだけは守り続けてください。

受験期を振り返って～お子様の側から①～

【保護者に言われたくなかったこと・嫌だったこと】

■ 過干渉

- ・「勉強しないの?」「このままで大丈夫なの?」
- ・模試の成績が少し下がると大丈夫なのかと問い詰めてきたこと。
- ・自分が1番分かっているのに「あれがダメだ」「これがダメだ」と口うるさく言われたこと。

■ お金の愚痴

- ・受験にどれだけの費用や時間がかかっているかを再三繰り返すこと。
- ・仮に大学受験を失敗した時のことや、お金の話などを毎日のようにされたこと。

■ 傷ついた言葉・プレッシャーを感じた言葉

- ・自分が一番焦っている時期に「本当にこのままで大丈夫なの?」と若干怒り気味で言われたこと。
- ・偏差値の高い地元の国公立大学しか行かせない。



受験期を振り返って～お子様の側から②～

【保護者に感謝していること・嬉しかったこと】

■ 信じてくれた

- ・不満を吐き出しているにも黙って聞いてくれたこと。
- ・「自分のやりたいようにやれ、自分たち（保護者）はあなたのやりたいことを応援するよ」と言われたこと。

■ 生活面・精神面で支えてくれた

- ・気分が沈んで勉強できなかった時期も何も言わずに見守ってくれていたこと。
- ・忙しい母が毎日お弁当を作ってくれたこと。
- ・勉強だけしていればいように、サポートしてくれていたこと。
- ・受験会場の下見についてきてくれたこと。

■ 嬉しかった「励まし」の言葉

- ・頑張ってるねと言われたことが嬉しかった。
- ・不安な気持ちを話すと、とにかく○○ならできる、大丈夫と言ってくれました。



保護者の方へ

●保護者が無理をしない

「よい受験生の親にならなければ」と力みすぎてしまうのは危険です。無理をしている姿はお子様にも伝わるもの。それがかえってお子様の負担となってしまう場合もあります。

●励ましの言葉はタイミングよく

よかれと思った励ましの言葉が、受験期のお子様に重く響いてしまうこともあるようです。励ましの言葉以外にも、「大丈夫なの？」「こんな点数しか取れなかったの？」「（合格が）早く決まらないの？」「また落ちたらどうするの？」など、ついつい自分の不安をお子様にぶつけてしまう言葉。お子様にかかる言葉にも、タイミングと心遣いが必要です。

☹️お子様について言ってしまう後悔していること

※2023年9月実施「保護者アンケート」より

- ・弱音を吐くなと言ってしまった。本人が辛いときに、追い討ちをかけるような言葉を発してしまったこと。
- ・頑張っているのに「頑張れ」とつい言ってしまったこと。模試のたびに結果だけを見てあれこれ言っていました。
- ・子どもの希望を優先しているつもりが、自分の希望を押し付けそうになってしまったこと。
- ・順調に伸びている教科を誉めることを忘れがちになってしまったこと。低迷している分野を指摘することに気持ちが傾きがちであったこと。

保護者の方へ

●親子の話し合い～お子様の考えを知り、保護者の考えを伝える

保護者の考えだけを押しつけてはいないか注意し、アドバイスをするにしても、まずお子様の考えをじっくり聞いてあげることが大切です。

☺受験について話題になったこと

※2023年9月実施「保護者アンケート」より

- ・大学の校風、所在地、進学費用、受験難易度など
- ・受験に必要な資格や受験方式を調べたり、学部内容の比較。
- ・進学先と、将来どんな仕事につきたいか、子どもが思い描くイメージを共有し、その選択は子どもにとって良い選択かどうか家族で話し合いをしました。
- ・子どもの将来と学部が本当に結びついているかどうか。一人暮らしがきちんとできるのか。
- ・プレッシャーにならぬよう時折進捗状況や受験計画などを簡単にたずね、主に勉強は大変ではないかとメンタル面をたずねた。

●ある程度の情報収集は必要

相談したり指示を仰いだりするべき保護者があまりにも受験に関して無知・無関心…お子様にとって、これはかなり不安なことです。おまけに中途半端な知識であれやこれやと口を出されたのでは、反感を感じてしまうのも無理ないことかもしれません。

一方的に決めつけることなく、分からないことは本人に説明させるくらいの気持ちで、お子様と話し合うことが大切です。

① 家族のベクトルを合わせる

⇒志望校の共有(主役は子供)、費用面の共有

② 食事の時間を固定すること(規則正しい生活をサポート)

⇒最も基本的な成績UP術は「早寝・早起き・朝ごはん」

⇒土曜日・日曜日の朝食時間の固定

③ 入試情報は、自分で調べさせる

⇒あくまで保護者はサポーター役で

⇒何か変化があれば学校へ相談を(急な進路変更、急に多弁(無言))

④ 「怒る」と「叱る」は別。状況を把握した上で言葉をかける。そして、「ほめ上手」に

キーワードは・・・

「つかず、はなれず、さりげなく」

【参考】世代間における変化

(授業料・入学金について)

ご両親世代 (1992年度)

現在 (2023年度)

国立大学

授業料 375,600円
入学金 230,000円



授業料 535,800円
入学金 282,000円

公立大学

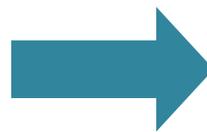
授業料 374,160円
入学金 324,775円



授業料 536,191円
入学金 374,371円

私立大学

授業料 668,460円
入学金 271,948円



授業料 959,205円
入学金 240,806円
+ 設備・実習・その他
277,329円 (全国平均)

※文部科学省資料より

※金額はいずれも平均額、公立大の入学金は他地域からの入学者を対象とした額

【参考】世代間における変化

(受験環境について)

	ご両親のケース (1992年度入試)	兄のケース (2020年度入試)	妹のケース(18歳) (2025年度入試) ※推計
18歳人口	205万人	116.7万人	109.1万人程度
大学志願者数	92.0万人	66.5万人	61.7万人程度
大学入学者数	54.2万人	63.5万人	62.1万人程度
大学数	約500校	約800校	約800校
入試環境	18歳人口がほぼピークの時代。大学進学希望者が急激に増加したが、大学数が少なかったため、大学受験は非常に厳しかった。浪人生も多かった。	AO入試(総合型)、推薦入試(学校推薦型)など、大学入試の多様化が進んだ。	兄のケースと比較してさらに大学志願者数は減少しており、急速なスピードで競争緩和が進む。

※「学校基本調査」「全国大学一覧」より河合塾が作成

- ご両親の世代と比較して18歳人口は大きく減少する一方で大学数は増加
 - 大学志願者数や大学入学者数も減少
- ご両親の世代とは、受験環境が大きく異なっている
- この数年間でも急速に競争緩和が進んでおり、兄弟間であっても変化

大学進学にかかる費用

大学生生活にかかる費用

(大学生 1ヶ月の生活費) ※平均値

		自宅生	下宿生
収 入	仕送り (小遣い)	10,980	67,650
	奨学金	10,220	20,640
	アルバイト	40,910	32,340
	その他	2,240	3,670
合計		64,350	124,290
支 出	食費	11,390	24,130
	住居費	330	53,020
	交通費	9,340	4,210
	書籍費・勉学費	2,810	2,970
	教養娯楽費	13,410	13,270
	電話代	1,710	3,460
	日常費・その他	7,640	9,600
	貯金・繰越	16,950	12,970
合計		63,580	123,630

● 「アルバイト収入」はコロナ禍前の水準にほぼ回復。

● 行動の制約が緩和され「教養娯楽費」「交通費」「食費」の支出が増加した一方、「貯金・繰越」が減少した。

※全国大学生協連「第58回学生生活実態調査」より (単位は円)

各費目、支出および収入合計はそれぞれの平均額のため、内訳の合計が「収入合計」「支出合計」と一致しない場合がある

大学進学にかかる費用

大学進学にかかる費用

あくまでも一例です

受験費用

受験料・交通費
20万円

学費

入学金25万円
+
学費120万円/年※私立大平均額
※学費は授業料+施設設備費+実験実習費等

生活費

生活準備費55万円
+
仕送り7万円/月

※自宅外と仮定、額は平均額



初年度費用：20万円 + 145万円 + 139万円 = 304万円

2~4年目：(120万円×3年) + (7万円/月×3年) = 612万円

今の大学入試は『**我慢比べ**』です。
苦手教科を諦めずに我慢できるか、
第一志望を諦めずに我慢できるか、
3月の後期入試まで粘り強く頑張れるか…。

お子さまの最高記録はまだ未知数(今後の取り組み次第)です。

最後まで“**チーム八鹿**”一丸となって、頑張りましょう。
河合塾は模擬試験、入試データで皆さんを応援し続けます。

